

第6学年〇組国語科学習指導案

平成〇〇年〇〇月〇〇日(〇)第〇校時

6年〇組 児童数 23名

指導場所 6年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

- 1 単元名 立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう
教材名 「学級討論会をしよう」

2 児童の実態と本単元の意図

(1)児童について

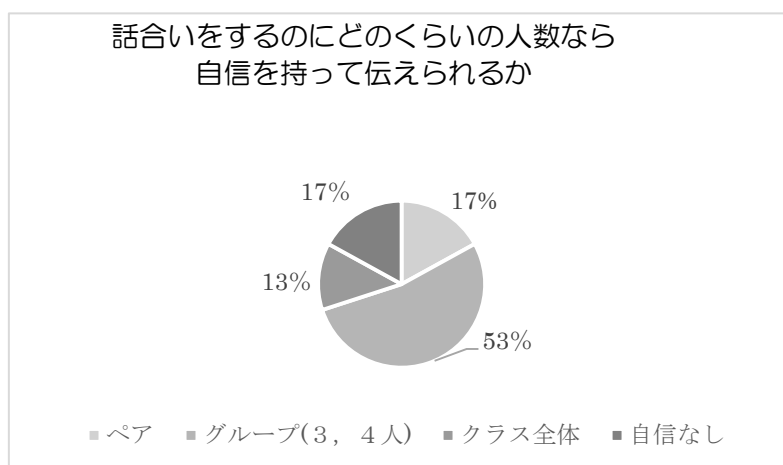
本学級の児童は、素直で真面目である。朝の会では日課として写真や具体物を用意し、スピーチに取り組んできた。実体験を話したり、具体物を示したりすることで、説得力のあるスピーチになることを指導してきた。スピーチの中で家族にインタビューをしたことや、インターネットで調べたことを織り交ぜながら話す等発展的な取り組みも見られるようになってきた。また、1つのものに対して力を合わせて作っていくことに前向きであり、より良いものにしていこうと努力を重ねてきた。学年で10月14日に行われた全国小・中学生ダンスコンクールに向け、練習にも意欲的に取り組んだ。指示されたことやアドバイスは素直に受け止め、改善していこうとする素直さがあるが、その一方で、自ら率先して行動したり、自分で考えたりすることには充分とは言えない。

本単元を指導するにあたり、「国語アンケート」を実施したところ、学級の約6割の児童は国語科の学習に好感を持って臨み、国語の学習が役立つと考えている。討論の学習に関しては、半数の児童が討論することが好きと答えている。理由は、「協力して考えることが楽しいから」「友だちの意見を知ることがおもしろいから」「相手に意見を伝えることができると達成感を味わえる」等を挙げている。一方、討論が好きでないと答えた児童は、「みんなに注目され、緊張するから」「言葉に迷う、説明がうまくできないから」等を挙げている。

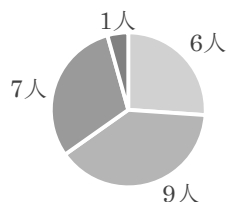
話し合いをする際にどのくらいの人数なら自信を持って伝えられるかを尋ねたところ、ペア(17%)、3、4人のグループ(53%)、クラス全体(13%)、自信なし(17%)という結果になった。3、4人のグループが自信を持つことのできる理由としては「人数がちょうど良い、恥ずかしくないから」と答えていた。一方で、「自信なし」と答えた児童は「上手に言えない、不安」と他者を意識し、失敗を恐れていることが分かった。

1学期の討論会で、相手に自分の考えや意図を伝えることができたかどうか尋ねたところ、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせると、6割強の児童が肯定の回答をしていた。また、1学期の討論会で相手の意図や考えを理解することができたかを尋ねると、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて9割の児童が肯定の回答であった。以上のことから、友だちの意見を聞くことには関心があり、意欲的であることが分かった。失敗を恐れている児童や、不安を抱えている児童もいることから、小グループで自信を持って自分の考えを伝える場を設定し、自分の考えに自信を持って交流することで考えを広げることができるようしていきたい。

話し合いをするのにどのくらいの人数なら
自信を持って伝えられるか

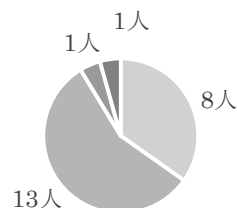


1学期の討論会で、相手に自分の考えや意図を伝える事ができたか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

1学期の討論会で、相手の考えや意図を理解することはできたか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

(2) 単元について

本単元は、一人一人の主張したいことによってグループを作り、根拠となる意見や資料を示して主張したいことを伝え合ったり、討論を聞くという立場で参加したりするディベート型を取り入れた学習である。「根拠となる資料を提示して、主張すること」を少しずつステップアップさせて、より多くの人を納得させることができるように計画的に話し合いを進める能力を育てたい。尚、討論には立場の違いをはっきりさせて臨むため、議論が白熱し、時に攻撃的になることもある。そこで、感情を害するような言動を慎み、相手の言葉を落ち着いて把握しようとする言葉遣い、態度を育てるようにすることも大切である。

本単元は、自分の考えや伝えたいことをもとに、情報を多面的に集めることが求められる。1学期には『ようこそ、私たちの町へ』で必要な材料を集め、効果的な構成や記述のしかたを考え、パンフレットを作ることを学習してきた。その際、情報を取捨選択しながら本やインターネットを活用したり、インタビューを行ったりしたので、その時の経験をもとに、主張の根拠となる情報を主体的に集めることができると考える。

(3) 指導について

小学校学習指導要領「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を集め、収集した知識や情報を関連付けること」「エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」「オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと」を取り上げて指導するものである。討論会の授業は、次の点で価値がある。

- ①自分の考えを明確にもつ力を高める
- ②論理的思考を高める
- ③情報の収集・活用の力をつける
- ④聞く力を高める

小学校の「話し合い」の能力における完成段階として、一つの問題を肯定・否定の両面から検討し、より多くの人を納得させるための話し合いを計画的に進める能力を育てたい。同時に、ここでは討論の流れを聞く立場にも焦点を当て、聞き取りの観点を持ち、議論を評価しながら聞く態度と能力の育成を目指す。

児童が関心を持って取り組むことをねらい、本単元の討論会のテーマとして、『朝食にするなら、ご飯か、パンか。』『学校授業に6時間目は必要か。』『動物園の動物たちは幸せか。』等身近な論題を設定する。まずは一人一人が両方の意見を持ち、その後どちらか一方の主張を深めるための根拠となる資料を集め

る。全員がどちらか一方を調べているため、討論のためのグループを編成した際、「聞くグループ」に属した児童も、主体的に質問を考えたり、双方の意見を聞き比べながら考えを深めたりすることができる。その上で子どもたちが、それぞれの立場の準備を進めていけるような学習の過程を工夫する。

1学期、学級討論会のおおまかな流れを学び、情報収集の仕方、活用の仕方を国語科以外の教科でも学習してきた。今回は、これまでの学びを生かすため、1学期に討論会を実施してみて、上手くいったことと上手くいかなかったことを振り返る場面を設定し、1学期よりもさらにステップアップさせるためにはどうしたら良いかを考えさせる。討論会のテーマについては、子どもたちにとって身近な話題であること、インターネットや本で調べる際に資料が出てくるようなものであること、インタビューによる調査が可能なものであることを留意して選ぶ。また、本校は2学期からタブレット端末(以下タブレット)が導入され、総合的な学習の時間でメディア活用の指導をしてきた。そこで、本単元でもタブレットを活用した「情報収集」と「情報伝達」ができるようにする。「情報収集」では、主にインターネット検索、「情報伝達」では集めた資料を画像として提示したり、インタビュー映像や音声を流したりすることを取り入れていきたい。

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善にせまる手立て

仮説1 自分の考えを持ち、表現することができるような教材・資料やワークシートなどを工夫することで、誰もが主体的に話し合うことができ、深い学びにつながるだろう。

手立て1 教材・資料の工夫

- ・タブレット端末の活用…一人一台タブレット端末を使える場を設定し、一人一人の課題に応じた、調べ学習や効果的なプレゼンテーションにつなげる。
- ・市立図書館の団体貸出の利用…調べ学習が十分にできるようにする。

手立て2 ワークシートの工夫

- ・複数のワークシートを用意…個に応じた複数のワークシートを用意し、選んで活用する。

手立て3 スキルタイムの活用

- ・「言葉の宝箱」…教科書の「言葉の宝箱」の中から、児童が活用しきれない単語を選び、文章を作成し、語彙を増やす。
- ・家庭との連携…スキルタイムで取り組んだプリントを定期的に家庭に返し、保護者のコメントをもらう。

仮説2 教室内の掲示環境や発表の機会、多様な交流の場を設定することで、他者の考えや意見をもとに多面的に検討したり考えを広げたりすることができ、対話的で深い学びにつながるだろう。

手立て1 掲示物の工夫

- ・話し方・話の聞き方…「話す・聞く」の基本的な姿勢として、話し方「かきくけこ」、話の聞き方「あいうえお」を掲示し、意識しながら話したり聞いたりする。
- ・振り返りの掲示…振り返りの視点の明確にした上で、他の児童の振り返りを掲示することで、他者の考えをより理解したり、次回以降の参考にしたりする。7の(3)展開「振り返りの観点」参照。
- ・学びの視点の視覚化…7の(3)展開「主張の仕方の観点」参照。

手立て2 発表の機会や場の工夫

- ・朝の会や帰りの会…お互いのスピーチを聞き合ったり、5分間メモの内容を共有したりすることで、他者理解や交流を図る。
- ・一人一役…学校生活全般において、必ず全員が全体の場で指示を出したり、中心となって活動したりする。
- ・多様な場の交流（ペア、グループ）…様々な人数による話し合いの場を設定し、体験を重ねることで、自信をもって伝えられるようにする。

4 単元の目標

- (1) 討論の形式や話題に興味を持ち、進んで参加しようとしている。 【関心・意欲・態度】
- (2) 自分の考えや伝えたいことをもとに、情報を多面的に集めて自分の考えを明確にし、全体を見通して事柄を整理することができる。 【話すこと・聞くこと (1)ーア】
- (3) 互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問をしたりして、討論することができる。 【話すこと・聞くこと (1)ーオ】
- (4) 討論会の話題に沿って、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。 【話すこと・聞くこと (1)ーエ】

5 単元の評価規準と学習活動における具体的評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
評価規準 単元の	・討論の形式や話題に興味をもち、積極的に参加しようとしている。	・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。ー(1)エ ・話題に対する相対する双方の立場で自分の考え方、感じ方を持っている。ー(1)オ ・会議の順序や進め方進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。ー(1)オ	・意見や質問のよりよい述べ方や、言葉の選び方に関心を持っている。ー(1)イ(カ)
学習活動における 具体的評価規準	① これまでの学習を振り返り、討論会に向けてよりよい主張にするための方法を話し合っている。 ② 教材文やインターネット、図書などから進んで効果的な資料を収集したり、考えをまとめたりしている。 ③ 討論会で相手の考えを尊重しながら意見を言ったり、聞く側としてよく考えて判断したりして積極的に参加している。	① インターネットや図書などから調べ、自分の考えを根拠付けたり、より多面的な視点から考えを見直したりして意見をまとめている。 ② 立場や主張を明確にし発言をしたり、たがいの主張の特に伝えたいことは何かを考えながら聞いたりしている。	① 互いの立場を尊重しながらどのように伝えれば良いかを考えて話したり、質問したりしている。

6 指導と評価の計画(全6時間扱い)

次	時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1	1	<p>◆「討論会」に向けて見通しを立てる。</p> <p>○1学期に行ってきた話し合いを振り返り、異なった立場から考えを出し合い討論の意義を確かめる。</p> <p>○身近な話題や考えていることから、学級で討論する話題を決める。</p> <p>○討論会に向けて学習計画を立てる。</p>	<p>○学習の見通し</p> <p>○話し合いの仕方</p> <p>○説得力のある主張の仕方の観点</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・主張→内容(理由)→主張 ・根拠となる事例 (具体物、具体例、インタビュー) ・自分の体験 ・一文は短く </div>	<p>アの①</p> <p>・話し合いの様子の観察</p>
2	2	<p>◆学級で討論するための準備を行う。</p> <p>○議題を確認し、各自がご飯派・パン派両方の立場で考える。</p> <p>○説得力のある主張にするための資料を箇条書きする。</p> <p>○学級を2つのグループ(ご飯派、パン派)に分ける。</p>	<p>○両方の意見の書き方</p> <p>○必要な資料の精選</p>	<p>アの②、イの①</p> <p>・話し合いの様子の観察、ワークシートの考察</p>
	③ 本時	<p>○ご飯・パングループの中で、さらに3つ、または4つの小グループに分かれる。小グループはテーマが同じものにし、各自調べてきた資料を提示し発表する。</p> <p>○友だちと意見を交流し、説得力のある話し合いに向けた工夫点を整理してまとめる。</p>	<p>○交流の仕方</p> <p>○ご飯・パングループとしての準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と理由の関係 ・主張の組み立て方 ・タブレット、本、インタビュー、アンケートなど具体物、具体例の活用 ・想定される質問と答え ・予想される反論への返答 ・表現で工夫するところ 	<p>アの②、イの①</p> <p>・話し合いの様子の観察、ワークシートの考察</p>
	4	<p>○本番での役割分担(ご飯グループ・パングループ、聞くグループ、司会グループ)をし、どう発言するか、どう質問するかなどを具体的に想定できるように話し合う。</p>	<p>○三者の立場</p> <p>○交流の仕方</p> <p>○ご飯・パングループとしての準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、表、図、写真などフリップの提示 ・タブレットの活用 <p>○聞くグループとしての準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの書き方 ・質問する際どう切り込むか 	<p>アの②、イの①</p> <p>・話し合いの様子の観察、ワークシートの考察</p>
3	5	<p>◆学級討論会をする。</p> <p>○討論するとき意識すべきことをおさえる。(教科書P49たいせつ)</p> <p>○司会者は、討論のテーマと討論の方向性、主な柱立てを述べて、全員で確認をする。</p> <p>○話題について討論する。</p> <p>○討論会終了後、どんな発言が自分の考えを深めたり、広げたりするのに役立ったか、討論会を</p>	<p>○討論会の進め方</p> <p>○討論での主張の仕方、聞き方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●立場や主張を明確にして発言する。 ●主張と理由の関わりをわかりやすく説明する。 ●相手の発言の意図を考えながら聞き、その主張と理由が適切かどうか検討する。 ●たがいの立場の、いちばんのちがいは何かを考える。 </div> <p>○質問の仕方</p>	<p>アの③、イの②、オの①</p> <p>・発表の内容や態度、ワークシートの考察</p>

		進める際に、どんな整理の仕方が有効だったか振り返る。	○聞くグループのまとめ方 ○討論会の振り返り	
6		○集団を入れ替えて、学級討論会をする。	○討論会の進め方 ○討論での主張の仕方、聞き方 ○質問の仕方、まとめ方 ○討論会の振り返り	アの③、イの②、オの① ・発表の内容や態度、ワークシートの考察

7 本時の学習指導(本時 3/6 時)

(1)目標 情報を多面的に集めて自分の考えを明確にしてまとめたり、話し手の意図をとらえて聞いたりしながら討論会の準備をすることができる。

(2)評価規準

○教材文やインターネット、図書などから進んで効果的な資料を収集したり、考えをまとめたりしている。一ア①【関心・意欲・態度】

○インターネットや図書などから調べ、自分の考えを根拠付けたり、より多面的な視点から考えを見直したりして意見をまとめている。一イ①【話す・聞く】

(3)展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 本時の学習内容を聞き、学習課題をつかむ。	○本時の学習の進め方	<p>【主 対 深】: 主体的で対話的な深い学び</p> <p>〈支援の必要な児童への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に分かれたグループで、必要な資料を用意し、自分の意見に自信を持って臨めるよう、ワークシートに助言を書き入れておく。 	3分
<p>◎学級討論会にむけて作戦会議を開こう。</p>			
<p>討論会のテーマ：朝食にするなら、ご飯か、パンか。</p>			
2 ご飯・パングループそれぞれさらに小グループ(3人または4人)に分かれ、議論についての根拠を検討する。	<p>○交流の仕方</p> <p>○根拠のある主張の組み立て方</p> <p>○メモの書き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれ、司会者を立て、持ち寄った資料を基に、一人一人理由を挙げる。 ・一人一人が理由を挙げていく上で、説得力のある主張の仕方の観点を意識させる。 <p>～主張の仕方の観点～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張→内容(理由)→主張 ・根拠となる事例 (具体物、具体例、インタビュー) ・自分の体験 ・一文は短く <p>【主】: 主張の仕方の観点を提示することで、自信を持って主体的に発言できるようにする手立てとする。】</p> <p>【評価場面】</p> <p>〈具体の評価基準〉ア②、イ①</p> <p>〈評価方法〉話合いの様子を観察</p> <p>〈手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童には、ワークシートに話型を入れ、参考にしながら理由を挙げられるようにする。 ・情報を多面的に集め、自分の考えを明確に主張できる児童には、友だちの発表を聞いて良かった点や、工夫している点をその場で称賛するよう指導する。 ・根拠となる資料を使うタイミングを考えることを助言し、必要に応じてタブレットや本、アンケート等で資料を提示しつつ説明ができるようにさせる。 	20分

<p>3 それぞれのグループ内で発表し、情報を共有する。</p>	<p>○交流の仕方 ○発表原稿の掲示</p>	<p>・小グループ編成は同じテーマごとにし、小グループで一つ主張するミニ原稿を書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と理由の関係 ・主張の組み立て方 ・インターネット、本、インタビューなど具体物、具体例の活用(根拠となる資料を使うタイミング) ・想定される質問と答え ・予想される反論への返答 ・表現で工夫するところ※次時の指導 </div> <p>・根拠を明確にした主張を聞いて、良かった点や考えられる反論を伝え合う。</p> <p>・発表を聞いて、質問や反論はワークシートにも書く。</p> <p>【対】：少人数で伝え合う場を設け、多面的に検討して考えを広げられるようにする。自信を持って伝え合うことができるようにするとともに、質問や反論は、ワークシートにも記録しておくことで、次時の話合いで生かせるようにする。】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価場面</p> <p>〈具体の評価基準〉イの①</p> <p>〈評価方法〉話合いの様子を観察、ワークシートの考察</p> <p>〈手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場で発言することが苦手な児童には、ワークシートに質問事項や反論を書かせることで自分の考えを伝えさせる。 </div>	<p>17分</p>
<p>4 次時の内容を確認し、本時の振り返りを行う。</p>	<p>○振り返り</p>	<p>・本時までの学習の振り返りを行う。</p> <p>【深】：振り返りの観点を示し、自己の学びの変容を感じられるようにする。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>～振り返りの観点～</p> <p>アンサー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてが達成できたか。 <p>プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・45分間での新たな学びや発見、対話的な学びで気づいたことはあるか。 <p>シチュエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために使った資料(インターネット、本、アンケート等)や道具、場の設定を生かしたか。 <p>ネクスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを今後どう生かしていくか。 </div> <p>・発表した原稿をパネルに貼り、次時の話合いでも生かせるよう残しておく。</p>	<p>5分</p>

学級討論会をしよう

名前

カテゴリ

意見・立場

根拠となる事例(参考文献、HP等も書く。)

予想される反論

意見・主張

振り返り

聞く・話すチェック

あ	相手を見て	◎	○	△
い	一生懸命	◎	○	△
う	うなずきながら	◎	○	△
え	笑顔で	◎	○	△
お	終わりまで	◎	○	△
か	考えたこと	◎	○	△
き	聞く人の様子を見て	◎	○	△
く	区切りながら	◎	○	△
け	結論がわかるように	◎	○	△
こ	声の出し方を考えて	◎	○	△

学級討論会をしよう

名前

意見・立場

私は、

根拠となる事例(参考文献、HP等も書く。)

理由は、

予想される反論

確かに、

しかし、

意見・主張

このような理由で、

と考えます。

からです。

という考えもあるかもしれません。

振り返り

聞く・話すチェック

あ	相手を見て	◎	○	△
い	一生懸命	◎	○	△
う	うなずきながら	◎	○	△
え	笑顔で	◎	○	△
お	終わりまで	◎	○	△
か	考えたこと	◎	○	△
き	聞く人の様子を見て	◎	○	△
く	区切りながら	◎	○	△
け	結論がわかるように	◎	○	△
こ	声の出し方を考えて	◎	○	△

学級討論会をしよう

名前

カテゴリ

意見・立場

私は、朝食には絶対（ ）の方が、（ ）より、

理由は、

と考えます。

を調べてみると、このようなことがわかりました。

からです。

本・インタビュー・動画・写真・HP・グラフ・表・図・自分の体験

なんと、

そして、

ということもわかりました。

確かに、

という考えもあるかもしれません。

しかし、

ということも考えられるのではないのでしょうか？

意見・主張

これらのことを踏まえ、総合的に判断すると

（ ）よりも（ ）の方がだんぜん、

朝食に適しているといえるのではないのでしょうか。

振り返り

聞く・話すチェック

	あ	相手を見て	◎	○	△
	い	一生懸命	◎	○	△
	う	うなずきながら	◎	○	△
	え	笑顔で	◎	○	△
	お	終わりまで	◎	○	△
	か	考えたこと	◎	○	△
	き	聞く人の様子を見て	◎	○	△
	く	区切りながら	◎	○	△
	け	結論がわかるように	◎	○	△
	こ	声の出し方を考えて	◎	○	△

学級討論会をしよう 名前

ミニ原こうをつくろう。

所属 カテゴリー

一、自分の原こうの要点	二、メンバーの原こうの要点
理由①	() さん
理由②	() さん
理由③	() さん

三、ミニ原こうの構成

わたしたちは、朝食にするなら、 よりも、 の方がよいと思います。その中で、特に 注目し、調べたり考えたりしました。()さん	
理由①	()さん
理由②	()さん
理由③	()さん
理由④	()さん
このような理由から、わたしたちは、朝食にするなら よりも、 の方がよいと考えました。()さん	